

2011年3月18日

加盟団体 各位

(公社)全日本アーチェリー連盟

会長 安倍 晋三

(公印省略)

2011年4月から変更になる競技規則について

平素から、全日本アーチェリー連盟の振興及び競技力向上に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

FITAより2011年1月に競技規則の改訂に係る連絡が来ましたが、下記内容のFITA条文での変更が行われます、日本の競技規則に適用される改訂部分は別紙「新旧対比表」を送付しますのでご確認ください、なお、貴所属の会員に対して情報提供と資料の配布をお願いします。

この規則は2011年4月1日から適用とします。

また、既に送付している正誤表はそのまま使用いただくこととなりますので、ご了承ください。

記

参考資料として、FITA競技規則条文の改訂条項をお知らせします。

4.5.1.4 オリンピックラウンド(リカーブ)は、以下により実施する。

- 上位 104 名が出場するイリミネーションラウンドは、予選ラウンドの順位により割り付けられる。各マッチは、3 射×5 セットで実施する。

注:3 射 6 セットのマッチは一切行わない。

- チームは、予選ラウンドに出場した競技者のうち、上位 3 名(ミックスは男女 1 名ずつの 2 名)で構成する。ただし、チームキャプテンは競技開始の 1 時間前までに DOS または審判長に書面で通知することにより、予選ラウンドに出場した競技者と交代させることができる。メダルは、交代して団体戦に出場した競技者のみに授与する。

4.5.1.5 コンパウンドマッチラウンド(2011年4月1日発効)は、以下により実施する。

- 上位 104 名が出場するイリミネーションラウンドは、50m 予選ラウンドの順位により割り付けられる。各マッチは、3 射×5 エンドで実施する。
- ファイナルラウンドの各マッチは、3 射×5 エンドで実施する。各競技者は、交互に 1 射する。
- 団体戦イリミネーションラウンドは、6 射(各競技者が 2 射)×4 エンドで実施する。
- 団体戦ファイナルラウンドは、6 射(各競技者が 2 射)×4 エンドで実施する。
- ミックス団体戦は、4 射(各競技者が 2 射)×4 エンドで実施する。
- コンパウンドイリミネーションおよびファイナルラウンドは、50m で 6 リングフェース

を使用する。

- チームは、予選ラウンドに出場した競技者のうち、上位 3 名(ミックスは男女 1 名ずつの 2 名)で構成する。ただし、チームキャプテンは競技開始の 1 時間前までに DOS または審判長に書面で通知することにより、予選ラウンドに出場した競技者と交代させることができる。メダルは、交代して団体戦に出場した競技者のみに授与する。

4.5.1.6 コンパウンド 50m ラウンドは、80cm マルチフェース 6 リングに 72 射する。

5.1.1.1 世界記録の追加

- 個人コンパウンドマッチ(15 射)

7.2.1.4 ヒット/ミス・ターゲットフェースの項目を削除

7.2.2.2 (マルチの設置に関して)円形バットを使用する場合、4 枚の設置は行わない。

7.2.2.4 コンパウンドマッチ戦の、80cm-6 リングの設置は以下のように行なう。

- イリミネーションラウンド(同時射ち)。1 バットに 2 個のフェースを水平に設置する。左側の競技者が左のフェースを、右側の競技者が右のフェースを射つ。
- ファイナルラウンド(交互射ち)。1 バットに 1 個のフェースを設置する。
- 団体戦およびミックス戦。チームごとに、1 バットに 2 個のフェースを水平に設置し、1 フェースに 3 射(団体戦)または 2 射(ミックス戦)する。競技者はどのフェースを射つか選択し、各フェースに 3 射(団体戦)または 2 射(ミックス戦)する。

7.5.2.4 団体戦ファイナルラウンド(交互射ち)では、

- 予選ラウンド上位のチームが第 1 エンドの射順を決定する。合計得点(コンパウンドマッチラウンドでは、低いセットポイント)の低いチームが次のエンドを先に射つ。

7.6.2.2.1 コンパウンド団体戦では、どのようは順番で矢を射ってもよい。しかし、同一フェースに 3 本(ミックス戦では 2 本)を超える矢がある場合、すべての矢はそのエンドの一部として、低いほうから 3 本(ミックス戦では 2 本)を採点する。同一フェース上のその他の矢は、M と採点される。最外側の 5 点の外にある矢は M と採点される。

9.6.3.2.1 個人戦

- 1 射によるシュートオフを行なう(最大 3 回まで)。
- 3 回目と同点の場合、中心に近い矢を勝ちとする。

9.6.3.2.2 団体戦

- 3 射(1 名 1 射)の合計得点によるシュートオフを行なう(最大 3 回まで)。
- 3 回目と同点の場合、中心に近い矢のチームを勝ちとする。

* 日本規則に適用しない条文は表示をしていません。